

～京都シティーフィル合唱団の基本理念～

[I] 西洋音楽の本流をなすアカデミックな作品を演奏曲目の中心とする。

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスといった大作曲家たちの代表的な合唱作品の多くは宗教曲という形をとり、管弦楽を伴う大作です。これら人類の宝物と言える傑作を、演奏する側に立って深く味わい、その喜びを団員だけではなく聴衆の方々と共に分かち合いたいと願っています。

[II] 音楽経験や年齢を問わず、広く門戸を開く。

音楽的な経験や年齢を問わず、様々な個性を持った人たちが、目標に向かって心を一つにして力を合わせることは素晴らしいことです。大曲を、人々に聴いていただけるレベルにまで仕上げるのは容易ではありませんが、じっくり時間をかけ、互いに助け合い、努力すれば歌えるようになる練習体制をつくりサポートします。

[III] 実り豊かな不断の練習を最も大切にする。

団員各自がやりくりして確保した貴重な練習時間を、音楽的に充実した楽しい時間にするには極めて重要です。指揮者を始めパートリーダー、運営委員、そして全団員の日頃の努力はそんな“楽興の時”の実現に向けてられています。みんなの力で練習を盛りあげる、そんな練習の彼方に感動的な演奏会があると確信します。

[IV] 社会と音楽の架け橋になる。

音楽（特にクラシック音楽）は専門家や一握りの愛好家だけのものではなく、もっと広く親しまれるべきと考えています。私達は練習を通して名曲の魅力、演奏することの楽しさ、音楽の喜びを多くの人々と分かち合い、そこで育まれた音楽的共感を絆としてすばらしいコミュニティーを創りたい、社会と音楽との架け橋になり続けたいと考えています。